

第60号

発行所

京都市中京区河原町三条

カトリック京都司教区

広報室(Tel 211-3768)

編集責任者 村上透磨

編集部 教理センター

田中司教認可



京都教区時報

特集 — 神さまへのおねがい
小教区の頁 — 尾 鷲 教会

いとしい者よ

国際児童年にあたって

「私のもとにおいて、小さい人々。神様の国はあなたの方の様な人々のものなのです」

主は幼児の中に住い、導かれるのです。

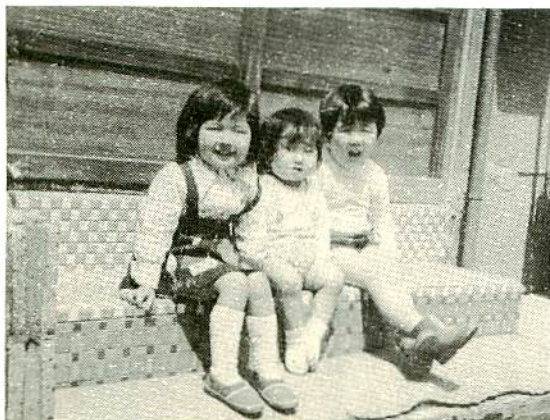
「行つて、神様の恵みを伝えるに行きなさい」
幼児には幼児の使命があります。彼等はただ受身の人間ではないのです。

「あなた方も互いに愛し合いなさい」

幼児にも兄弟をいたわり、ほほえみかける事を教えたい。両親を敬い愛する事と共に。

子ども達の生命が尊ばれます様に。胎児に至るまで生命の権利がある事を忘れまい。

子ども達の権利が尊ばれます様に。彼らは最も尊い生命の、愛される事の、愛する事の権利をもつものなのです。祝福あれ。



教区短信



▽三月十六日⑧〜十七日⑨ 於・比叡山
世界宗教者平和会議関西研修会

▽三月十八日⑩

レジオマリエ アチエス 於・河原町
▽三月二十一日⑪ 於・カトリック会館

京都教区教会学校担当責任者会議

▽三月二十六日⑫〜二十八日⑬

教区中学生合宿 於・和知山の家

▽四月一日⑭ 於・カトリック会館

人権を考え、祈るミサ祭

▽四月三日⑮〜五日⑯ 於・メリノール

京都教区高校生合宿 ハウス

▽四月十二日⑰ 午前十時

聖香油のミサ 於・河原町教会

▽四月十五日⑱ 復活祭

▽四月十六日⑲ 於・カトリック会館

邦人教区司祭月例会

▽四月二十二日⑳ 於・ヌベール会修院

聖ベルナデッタ百年祭

▽四月二十九日㉑ 峰山教会献堂式

▽五月五日㉒

高山右近子供祭 於・大和榛原

▽五月六日㉓ 世界召命の日

▽五月七日㉔ 於・カトリック会館

司祭評議会定例会議

▽五月八日㉕〜十日㉖ 於・東京多摩

メリノール宣教会総会

▽五月十一日㉗〜十四日㉘ 於・山中湖
女子修道会総長管区長会議

共助組合連合会

京都で理事会

二月四日、日本共助組合連合会第48回理事会が、これまでの関東での開催という慣例を破り、宇治の男子カルメル会修道院において二泊一日の日程で開催された。北は弘前から南は熊本に至る各理事が、一人の欠席もなく、また福島県白河からは正月休みを返上して、京都での理事会に備えたという活動員もあり、関係者を喜ばせた。



共助組合とは、一言で言えば物質的裏付けを持った隣人愛の発露の場であり、高度な理念を日常の生活の中で具現化しようとする共同組合理念の原則にたちかえった組織体、共同体といえる。広範な金融組織を誇る我が国ではあるものの、依然日常の新聞紙上ではサラ金悲劇が相ついでおり、法的諸問題も含め、各地で熱心な活動、学習が続けられている。

現在連合会ではカトリック教会を中心に59の加入組合を持ち、設立準備中の組合も少なくない。京都教区では九条カトリック教会共助組合と、希望の家共助組合が、ほぼ10年前に設立され活動を続けている。

世界祈祷日に祈る

去る3月2日、岩倉の平安教会に於いて、京都市内のキリスト教会から約30名の婦人が参加して、世界祈祷日の集会が行なわれた。カトリック教会からは村上(眞師)と31名の婦人が出席、国境や人種を越えて、親しく交わり、心を一つにしてアジアで戦火に苦しむ人々、アフリカで人権の侵害にあい、飢えと貧困になやむ多くの人々のために、深い祈りを捧げた。

この世界祈祷日は、毎年3月の第一金曜日と定められ、様々な教派に属する全世界のキリスト教の婦人の祈りの日である。この日は、自己の霊的な成長を願い、婦人達が何をすることができるとを話し合う。この日の献金は、韓国の原爆被害者、アジア学院に学ぶアジアの留学生、アジアの子どもたちを飢えと栄養失調から救うプロジェクトのために用いることになった。

喜びのうちに大司教着座式

「キリストにおいてみながつになる」(ヨハネ17・22)祈りと決意のうちに新しい教区長の着座式が大阪聖マリヤ大聖堂で2月12日盛大に行われた。

前教区長・田口板橋機卿の後をうけて、教区内にキリストの神秘体を建設し続けてゆく新しい牧者、安田大司教の誕生を祝うと共に、常に聖霊の導きのもとに歩まれるよう隣接教区民一同心からなる祈りと声援をお送りしたい。

26聖殉教者をしのんで、ゆかりの地で記念ミサ

去る二月四日(日)午後二時、下京区綾小路堀川西入ル、妙満寺町、小寺ビル二階で、26聖人をしのび、田中司教、司祭五名、百余名の信徒の参列のもと、記念ミサが行われた。この地は秀吉から、フランシスコ会師に与えられた一万六千平方米に及ぶ土地で、そこには教会、病院、学校、信者の家があり、聖ヨハネ、バプテスマ師は、フランシスコ会上長であると共にスペイン総督派遣全権大使でもあった。

26聖人は長崎の殉教者と一般に考えられるが、殉教は耳そぎ等にはじまる、京都における受難から始まる。信者達も六名の宣教師を除き、近畿一円の信者を中心とする私達に身近な人々である。



京都には其の他南蛮寺をはじめ隠れた切支丹遺跡も多く、この発掘が望まれる。この集いも茨木師の地味な努力が実を結んだのであり、南壮連の協力により切支丹遺跡発掘委員会が発足し、信仰の遺産を見出していく努力も芽生えはじめていく。



ベルランド・A・グ
ラムスパーカー神父
(メリノール会会員)
一九三〇年八月十七日
生 四十八才

アメリカ、インディアナ州ジャスパー市出身、五七年司祭に叙階されて来日。元駐日教皇大使の秘書として勤務、また、国際研修センターで英語を教えていた。唐崎メリノールハウスで脳いっ血のため倒れて、草津病院に入院したが二月十五日帰天。



シスター・ジョセフィ
ン・岡はじめ
去る2月20日、聖母
訪問会会員、シスター、
岡は草津病院で修道生
活48年を閉じ帰天。享年81才

一八九八年に仙台市に生まれ、一九三〇年に聖母訪問会へ入会。宮津暁星高校の前身である暁星実科女学校で教鞭をとり、その後永く舞鶴日星、宮津暁星高校の校長を兼任。小児麻痺に罹り足の不自由さを克服して教育界に尽す。



バトリック・ジェーム
スヘネシー神父
(レナンブール会員)
一九一九年一月五日
六十才

カナダ・オンタリオ出身、四五年カナダで叙階され、五二年トロント管区舞鶴副管区で働くため来日、舞鶴管区長、大阪教区吹田教会を勤め、最近、福知山綾部、報恩寺教会の主任司祭を歴任、三月三日福知山教会で帰天。

京都修女連総会開く

去る2月25日聖母学院において京都教区の修道女連盟の研修会と総会が開かれ約百数名の会員が参加した。午前10時より4時間にわたり精神衛生(兵庫医大・松永氏)についての講話があり続いて総会では役員改選及び、特に教理センターより人材不足のため各修道会から教理センターで働くシスターを出してほしいとの要請があった。

なお新役員は次のとおりである。

Sr 安藤(ヌヴェール愛徳) Sr 安齊(コングレガシオン・ド・ノートルダム) Sr 近藤(ノートルダム) Sr 鈴川(善きサマリヤ人会) Sr ジュリアス・マリ(ウイチタ)

奈良県教会学校教師と

母親のための研修会

3月8日④奈良カトリック教会において、奈良県下の教会学校にたずさわる教師とお母様方のための研修会が開かれた。

『ボランティア活動に向う』

ーからし種の会、例会報告ー

「口頃何を考え、どんな生活をしているのか、信者同志集まって話し合ってみよう」と、スタートした(からし種の会)西院、衣笠、桂)も四年目を迎え、固苦しい雰囲気になりがちな信者集会ではなく、日常生活の延長をモットーにして毎回出席者も二十五名をくだりません。

相互の親交も深まり、各教会間の連絡もスムーズになった昨年夏頃から「親睦だけの会ではもったいない、社会に働き

ブルグス会のカシミロ師による「子ども心を育てる」という講演と、教理センタースタッフによる「教会学校で必要とされるお母様」カリキュラムの作り方」などの講話があり、マリスタ会の神父様も含め50余名の参加者が熱心に研修した。

信徒使徒職委員会

第一回準備会

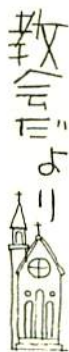
2月4日午後2時、カトリック会館5階会議室で信徒使徒職委員会の第一回準備会が開かれた。

信徒使徒職とは、信徒一人一人が自分の家庭や職場における日常の生活によって信仰を表わし、生活そのもので福音を人々に示すことで、このことをはつきり自覚した信徒を少しずつ増やしていくにはどうすればよいのか、また、生活によって信仰を表わすとは具体的にどうすればよいのかを探ろうということになった。

第二回準備会は3月25日午後2時よりカトリック会館5階で開かれる。

かけるボランティア活動を」の声が高まってきました。ボランティア活動として我々に何が出来るか、それに対する我々の意識はどの程度のものなのか、愛の実行本部から山本氏を講師に招いての研究会和三回の話し合いをもった。全員で確認出来たことは「何かをやりたい」という点で一致。精薄の子どもを守る会、フイリピン神学生に対する援助など、現在実行、計画中の運動をもっと輪を拡げていくこと。

こうして(からし種の会)の将来への方角づけが浮かび上がってきました。



上野教会で献茶ミサ

私達上野教会では、今年の年の始めのミサ終了後、お茶の先生によって、イエズス様に献茶していただき、その間、一同静修の心の中に与えられた信仰の恵みを深くかみしめ感謝の祈りを捧げました。その後、ホールを茶室にしつらえ、神父様と信者約三十名余りでお茶会を催した。昨年までは、元旦のミサ後新年の挨拶を互いに交わすだけで帰ったのですが、今年は、新しい試みである、お茶を囲んでのひとときはお互いの心のふれ合いを一層深めていく上で大変よかったです。

(上野教会)



献堂式間近か!

一昨年の十月に教会建設に立ち上った私達は、前途にみづから不安を抱きながらも、ヴィーテングル神父様の熱意に励まされて、来る四月二十九日に献堂式を行うところまでたどり着きました。

何分、丹後は、機械をつぶすほどの不況のさ中で、募金の心配がありました。

しかし、折りと共にやってみると皆様のあたたかい真心がぞくぞくとよせられ、私達は勇気づけられました。

又、少しでも経費を軽くするために、

出来ることは自分達でやるようにしました。ダンブカーで土はこびをしたり、その土をならすために婦人部の方が手伝い排水管の埋設工事なども神父様と私達でやりました。

峰山に教会を建てましよう、宮津におられたループ神父様が、峰山に土地を買われた時から四十年余り、レデンプトール会の神父様達がこられてから三十年、この長い年月を教会を建てたいと思いい続けてきたこの願いが御復活祭と共に私達にかなえられようとしています。

御協力下さいました皆様に深く御礼申し上げます。(峰山教会)

小さな支え

昭和四十年、名張市の中心部に創建された聖ヘレナ教会が私達の教会です。信者は多くありませんが家族的な穏やかな雰囲気です。四十七年春から、婦人部の有志が教会のボランティア活動の一端として、精薄児施設名張育成園に月二回奉仕活動を行っています。その内容は、園児の衣服の補修が主な仕事であり、第二第四の火曜日に同園を訪問しています。園児の中には、私達になつて個人的に衣服を直してほしいと持ってくる子もあり、知能が遅れていても純真そのものでやはり来てよかったと心に張りを感じるのです。

教会の愛の精神がこの子たちに少しでも理解して貰えたら何よりの喜びです。

(名張教会)

司教の足どり

一月～三月



- 1月
16 府立医科大学長 病院長来訪
17 J MPC 理事会(東京)
18 厚生省訪問
19 精華聖マリア幼25周年新園舎祝別式
21 ①下鴨アカデミーミサ。教会一致祈禱会(京都ハリストス)
22 邦人司祭月例会。東京神学院長来訪。
23 教理センター理事会。教会一致祈禱会(河原町)
24 世界倫理準備発足会(明治神宮)
26 故山中巖彦師通夜(東大阪)
27 幼きイエズス会管区長来訪
28 ①富雄(奈良)ミサ
2月
1 女子カルメル会訪問
4 ①河原町ミサ。26聖人ミサ(四条堀川・南蛮寺跡小寺ビル)
5 教区カテキスタの集い(精華)
6 M M本部召命担当司祭来訪
7 こひつじの苑代表来訪
9 京北町(山国)町長来訪
12 安田大司教着座ミサ(大阪)
13 司祭評定会。世界倫理第一回準備会(諸宗教・河原町)
14 OMI司祭見舞(神戸中央病院) M M管区長来訪
15 佐藤司教(仙台)来訪。南婦連常任委聖母の家代表。女子カルメル会代

表。精華信徒会代表来訪

- 18 ①教区時報拡大編集会議(河原町)
19 邦人司祭月例会
20 聖ペルナデッタ祭(聖母学院)
23 ノートルダム高校卒業式。ミシエール・クオースト師講演会(聖公会)
24 聖母学院高校卒業式。ピアートル管区長(カナダ)T司教来訪
25 ①教区修女連修会総会(藤森)
26 ①教区信徒協働準備会(北白川)
27 エスコラピオス会代表来訪。故グラムスバーカー師M M追悼ミサ(衣笠)
28 長浜保護者会代表来訪
29 セントジョセフ高校卒業式(津)
30 三重県庁訪問。南勢カトリック老人ホーム職員に講話
3月
1 南勢老人とミサ。海星高校卒業式(四日市)
2 東京神学院代表来訪
4 ①河原町ミサ
5 司祭評定例会議。故ヘネシー師(福知山主任)葬儀ミサ(西舞鶴)
7 亀岡・園部教会個人訪問
8 長岡幼卒園児司教座聖堂巡礼。ノートルダム大学卒業式
10 世界倫理第二回準備会(諸宗教・熱田神宮)
11 ①聖母カテキスタ会本部訪問
12 駐日バチカン大使館より来客
13 教区付邦人司祭月例会
15 J MPC 理事会(東京)
16 ノートルダム小学校卒業式

お知らせ

国際児童年記念講演シリーズ

- (I)日時 4月25日④10時30分～12時
テーマ「信じることの教育」
講師 深堀英二師 明星高校校長
(II)日時 5月16日④10時30分～12時
テーマ「子供の世界」
講師 岸本羊一師
(III)日時 5月23日④10時30分～12時
テーマ「ハンディのある子供」
講師 シスター・メリードロレス石崎
(IV)日時 6月6日④10時30分～12時
テーマ「現代の子と親子関係」
講師 中根冬雄氏
(V)日時 6月13日④10時30分～12時
テーマ「出来る子、出来ない子」
講師 辻井 正氏
北野おもちゃライブラリー所長
会場 全回とも京都カトリック会館 6階
聖書研究会
(I)日時 4月21日④6時30分～8時30分
テーマ「秘跡である教会」
講師 パリゾ師(ドミニコ会)
(II)日時 4月28日④6時30分～8時30分
テーマ「教会の役割」
講師 パリゾ師(ドミニコ会)
会場 京都カトリック会館6階
会費 五百円

アルコール中毒患者を家族 友人にもつ
方々のためのA・Aセミナー
日時 5月18日④6時30分
20日④正午
会場 18・19日 京都カトリック会館6F
20日 河原町教会地下ホール
会費 千円
スライド教材制作ワークショップ
(一)土曜コース
5月12・19・26日、6月2・9日④
連続5回毎土曜日 一時より五時
教材費一切を含め全過程で五千元。
(二)夏期集中コース
7月30日①～8月3日⑤ 5日間
毎日午前9時～午後5時
教材費一切を含め全過程で一万円
(当方に宿泊設備はありません)
場所 教理センターアネックス
内容 福音のメッセージの映像化
募集人員 各コース十名
申込メ切 4月10日⑤まで
申込先 教理センターアネックス
TEL 075-63355

第二回拡大編集会議開催の報告

前号御案内の第二回拡大編集会議は一月十八日 司教様をお迎えして予定通り河原町教会で開催されました。詳細については直接連絡員の方にお送りさせていただきます。御多忙のところ本当に多くの方の御出席をいただきありがとうございます。
(編集部一同)

1978年度 京都司教区現勢調査報告 (1978.1.1~12.31)

概況

面積	18094.32km ²
(京都府・滋賀県・奈良県・三重県)	
人口	6,375,125
信者総数	19,149
信者実数	17,116
求道者数	739
小教区数	50
巡回教会数	10

人員構成

	邦人	外人
司教	2	
司祭	24	63
修道士		11
神学	4	
教区	4	
修道会	1	1
修道女	239	41
聖母カテキスタ会	19	

修道女 () 内は志願者

	邦人	外人
ノートルダム教育修道女会	59(1)	13
聖母訪問会	43	
ヌヴェール愛徳および キリスト教的教育修道会	26(2)	1
幼きイエズス修道会	21(1)	
ウィチタ聖ヨゼフ修道女会	17(4)	6
カルメル会	13(2)	
カロンデレットの聖ヨゼフ修道会	9	5
聖ドミニコ女子修道会	6	
聖心のウルスラ修道会	9	1
聖ドミニコの宣教修道女会	6	
メリノール女子修道会	4	10
コングレガシオン・ド・ノートルダム	4	
シャルトル聖パウロ修道女会	4	
カノッサ修道女会	3	
善きサマリア人修道会	3	3
聖ウルスラ修道会	3	1
イエズスの小さい姉妹の友愛会	3	1
愛徳カルメル修道女会	3	
汚れなき聖母の騎子	3	
聖フランシスコ修道女会	3	
合計	239(10)	41

司祭・修道士 () 内は志願者数

	司祭	修道士
	邦人	外人
教区	22	
メリノール宣教会		23
オブスディ		1
マリスト会	1	12
聖ヴィアートル会	1	11 (1)
レデンプートル会	1	4
男子エスコラピオス修道会		5
男子跣足カルメル修道会	4	3 (1)
ドミニコ会		3 (1)
フランシスコ会		1
合計	26	63 (3)

社会福祉施設

伝道士(婦)

	男	女
信徒	8	15
修道者	3	17

	数	男	女
病院	2	※ベッド数311	
養護施設	1	12	41
保育園	8	434	362
老人ホーム	4	69	222
心身障害者施設	4	179	161
寮	6	19	76

教育施設 () 内は信徒数

	数	男	女
大学	1		1,060(24)
短期大学	1		322(10)
高等学校	9	1,597(27)	2,937(116)
中学校	7	703(21)	1,267(55)
小学校	3	806(32)	1,129(52)
幼稚園	26	2,578(69)	2,480(76)

五三年度の

現勢調査を見て

京都教区の信者総数は一九四九人、これは全人口の約0.4%になる。小教区の数は50(別に巡回教会が10ある)で京都府に27、滋賀県に5、奈良県に7、三重県に11である。司祭は邦人司祭が26人、外人司祭が63人である。外人修道士が11人、修道女は邦人が239人、外人が41人で聖母カテキスタ会(在俗会)に邦人19名がいる。信徒実数(総数から居住不明を引いた数)一七一一六人は京都府が一〇四四七人、滋賀県が一二〇〇人、三重県が二九四〇人、奈良県が二五二九人である。前年度に比べて教区神学生は2人増え、修道女志願者も4人増えている。求道者は前年度の352人から739人になっているが、洛星高校における求道者17人を前年度には衣笠小教区に含めなかったことが大きい。しかし京都市内の求道者は30余名増え、また京都北部の77名は31名の増加である。成人受洗者250人のうち男子が66人、女子は184人で約2.8倍の割合である。

147組の結婚のうちカトリック信徒同志の結婚は23組、他キリスト教受洗者との結婚が9組、非キリスト者との結婚が圧倒的に多く115組である。

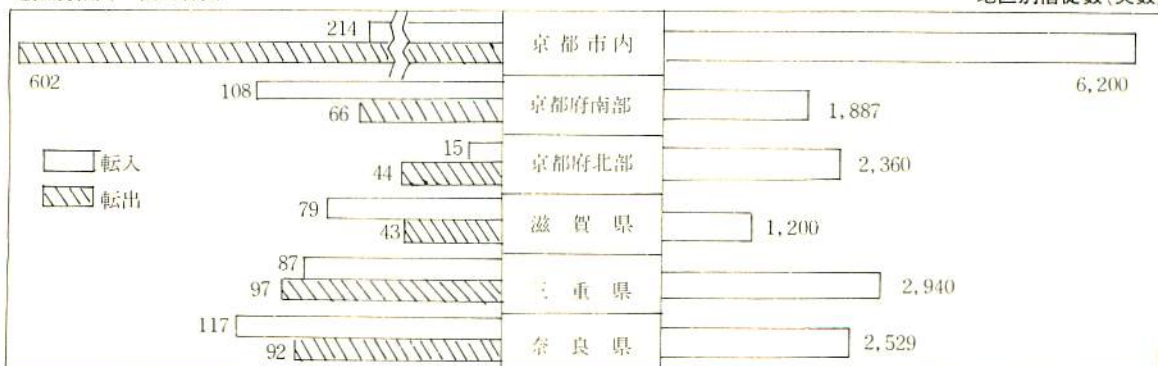
教会学校に参加している児童は信者が一、二八四人で、未洗者が二、三八六人もおり、児童への福音宣教の場として注目される。

(文責 松本秀友)

地区名	教会名	信徒数			ミサ参加		求道者	洗礼			結婚	転入	転出	教会学校		死亡
		総数	実数	(1977年)	日曜日	復活祭		成人	幼児	臨洗				信	未	
京都市内	河原町	1,625	1,565	1,580	700	1,000	25	17	7	0	34	41	71	70	115	9
	西院	1,092	778	809	150	250	16	8	15	4	4	23	20	48	12	4
	衣笠	726	596	634	292	472	189	3	10	5	4	15	37	65	43	5
	高野	393	380	588	226	298	39	15	11	2	11	24	377	39	0	7
	桃山	554	539	542	120	200	0	6	10	0	5	15	20	40	7	1
	九条	546	502	491	80	160	6	4	5	2	0	7	6	21	44	2
	桂	509	460	487	130	200	9	0	6	0	6	16	6	35	14	2
	伏見	422	381	386	135	260	17	15	12	1	4	22	24	29	35	4
	山科	397	322	308	130	210	10	4	5	0	3	29	23	60	20	1
	西陣	355	304	290	90	170	6	6	10	2	2	10	8	29	25	6
	小阪	240	220	246	60	80	15	2	5	0	3	6	8	30	9	4
	北白川	213	153	150	90	140	11	2	3	0	1	6	2	11	21	0
	小計	7,072	6,200	6,511	2,203	3,440	343	82	99	16	77	214	602	477	345	45
京都府南部	田辺	628	623	563	240	360	23	18	7	0	4	46	9	65	12	1
	宇治	485	460	449	130	270	17	5	5	0	2	33	30	43	96	2
	園部	226	224	226	45	105	3	2	3	2	0	2	6	12	6	1
	青谷	237	203	196	60	150	1	2	2	0	1	12	8	54	0	0
	長岡	268	259	150	70	140	3	0	4	1	0	8	8	9	60	2
	亀岡	118	118	114	50	80	9	1	0	0	0	7	5	30	15	1
	小計	1,962	1,887	1,698	595	1,105	56	28	21	3	7	108	66	213	189	7
京都府北部	網野	478	422	431	105	175	4	6	2	1	2	4	12	5	6	3
	報恩寺	663	411	403	30	53	3	6	7	0	1	1	0	10	0	6
	宮津	402	401	399	100	150	48	18	4	3	6	2	10	43	5	5
	西舞鶴	380	343	336	170	230	5	5	7	0	0	0	3	59	7	2
	加悦	249	249	248	80	120	0	0	2	1	2	2	2	32	1	1
	岩滝	194	194	193	70	75	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	綾部	113	113	115	25	60	4	1	1	0	0	1	5	12	14	0
	東舞鶴	176	137	100	30	100	3	1	2	0	2	5	5	0	0	0
	福知山	95	90	97	20	40	10	0	0	0	1	0	7	4	6	0
	小計	2,750	2,360	2,322	630	1,003	77	38	25	6	14	15	44	165	39	17

地区別転出・転入者数

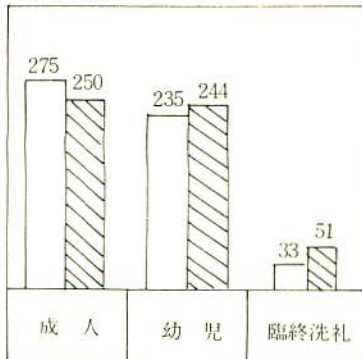
地区別信徒数(実数)



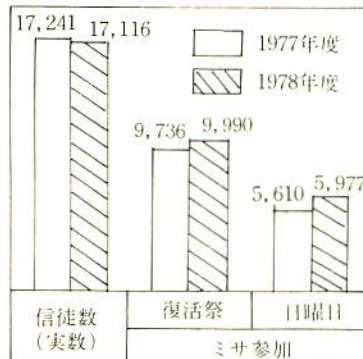
地区名	教会名	信徒数			ミサ参加		求道者	洗礼			結婚	転入	転出	教会学校		死亡
		総数	実数	(1977年)	日曜日	復活祭		成人	幼児	臨洗				信	未	
滋賀県	草津	532	520	512	230	350	7	9	9	14	3	62	18	73	5	5
	大津	430	245	413	120	500	45	7	8	0	3	4	10	23	101	0
	彦根	288	288	292	75	151	2	1	1	0	1	10	14	10	120	2
	長浜	87	87	85	15	30	0	0	0	0	0	2	0	12	49	0
	唐崎	107	60	59	45	60	2	2	1	0	0	1	1	0	117	2
	小計	1,444	1,200	1,361	485	1,091	56	19	19	14	7	79	43	118	392	9
三重県	四日市	868	850	858	290	360	14	9	4	1	2	27	37	147	6	1
	松坂	496	457	468	155	300	6	12	1	6	2	7	6	17	0	17
	伊勢	508	363	372	100	253	19	2	6	0	4	3	15	15	6	5
	津	401	284	284	140	230	9	2	4	0	7	4	9	20	13	1
	桑名	248	236	268	80	200	4	4	11	0	4	6	7	41	145	5
	鈴鹿	216	216	204	45	90	17	1	1	0	5	17	7	15	46	0
	久居	173	173	172	50	70	0	4	0	1	1	0	5	22	6	0
	上野	185	180	162	80	115	2	2	4	0	1	18	5	10	26	1
	津南	106	106	95	35	70	4	0	0	1	0	2	3	16	59	0
	亀山	47	36	36	20	18	9	2	0	0	0	0	2	8	3	0
	尾鷲	39	39		24	30	6	0	0	0	0	3	1	0	0	0
	小計	3,287	2,940	2,919	1,019	1,736	90	38	31	9	26	87	97	311	310	30
奈良県	奈良	834	776	760	300	400	55	13	8	0	8	20	23	79	175	2
	高田	436	431	424	135	305	8	4	6	0	1	26	17	86	238	0
	郡山	429	407	400	100	100	6	0	5	0	0	11	9	44	111	1
	八木	266	264	257	80	150	14	5	12	1	3	21	31	10	260	1
	登美ヶ丘	287	287	255	260	350	22	13	13	2	3	12	6	60	257	0
	富雄	240	237	218	100	200	8	5	3	0	0	19	5	47	30	1
	御所	142	127	116	70	110	4	5	2	0	1	8	1	4	85	3
	小計	2,634	2,529	2,430	1,045	1,615	117	45	49	3	16	117	92	330	1,156	8
京都府	京都府計	11,784	10,447	10,531	3,428	5,548	476	148	145	25	98	337	712	855	573	69
	総計	19,149	17,116	17,241	5,977	9,990	739	250	244	51	147	620	944	1,614	2,431	116

(堅信:総数278)

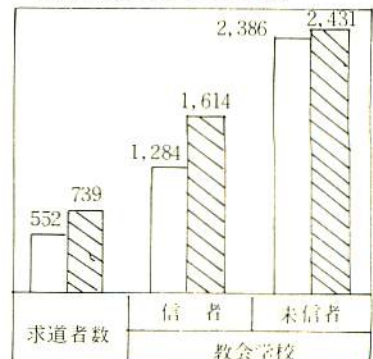
洗礼者数



信徒数とミサ参加者数

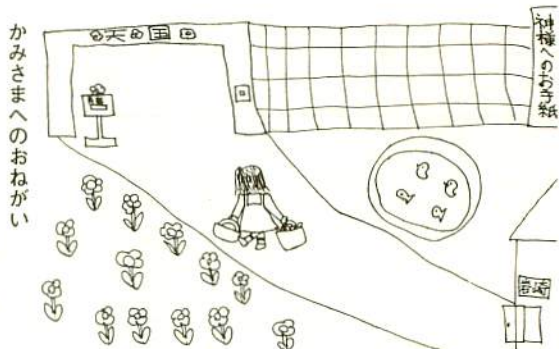


求道者数と教会学校生徒数



国際児童年記念特集

神さまへのおねがい



岩崎忍 (ノートルダム小3年)

かみさまへのおねがい

いけだきよこ

おとうさんとおかあさんにあいたい。

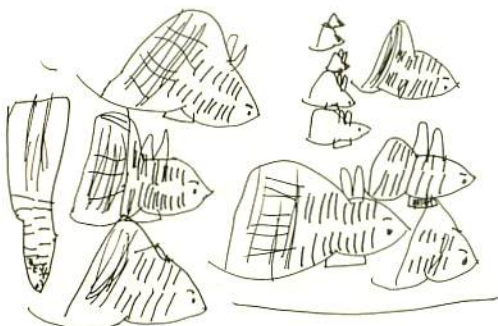
(聖マリア養護学校)

※ きよこちゃんは重症心身障害児です。一文字ごとの重さが胸をしめつけるようです。(編)

神様への手紙

日高 レミ

神様、神様は、とてもきょうなのですね。頭の中にある細い細い線を一本一本つなげたり、はなしたりして何回もせいこうしたんだもの。神様にはできないことではないということも、じゅう分しんじ



のぐちきりこ (聖マリア養護学校2年)

(ノートルダム小3年)

られます。
神様、私は神様にとっても感謝します。だって神様が私を作って下さらなければ、私はこの世界に生まれてなかったのですから。
さて、私のおねがいはしたいのはしよ来的事です。私のなりたいのはシスターです。シスターになる前にお金をためて人をよんでこじいんや、ろう人ホームをひらきます。そして、かわりばんこで世話や、マザーテレサの所にいくのとか、お店やさんなどをします。そういうしよ来がいいのです。
もう一つのねがいは世界が平和にせんそうなくなつて、アメリカやフランスなんてなくなつてたれだれさんのおうちの地図とかしかなくいようになつてほしいのです。つまり世界になかよくなつてほしいのです。

かみさまへのおねがい

らねん ささき ひであき

あはれをうけとてまはしいでから へいけにしよう。

ごはんをおくしてほしい。

ははとあちちへ いつまでも いきてほしいでから たいせつなこ

ははに いきないしあひでから あるける ようにする

くるまのつて うんてんをいしたいです。

おあきくになつたら ひこうきのうんてんしよと あみせやとあひでや

かみさまへのおねがい

ささきひであき

せんそうをなくしてほしい。

だから へいわにしよう。

このびょういんのごはんはつめたい。

だから ごはんをあつくしてほしい。

ごはんをおくしてほしい。

ははとちちに いつまでも いきていてほしい。だから たいせつにしよう。

ははに いきたいし

だから あるけるようにする。

ひこうきのうんてんをいしたいです。

くるまのつて うんてんをいしたいです。

おあきくになつたら

ひこうきのうんてんしよと

みせやとあねといぬやになりたいです。

(聖マリア養護学校6年)

※ ひであきくんは 手が不自由

なのでタイプで原稿をうって

くださいました。

(編)

かみさまへ

かたおかみまこ

きょうかいの中はきれいでしたよ。わたしは きょうかいの中はこんなにきれいとほりませんでした。まるで天国みたいでした。おききしますが 天国でどんなきれいな？ 雨なんかふらないの？ あついのさむいの？ 春みたいにあつたかいの？ いろんな人がいるの？ びょう気つてないの？ みんなげんきな？ おしえてください。となりのおじいちゃんげん気？ わたしは 天国かじごくかどっちに

ひであきくんのげんこう

かみさまへ

かたおかみまこ

かみさま きょうねーミサにいったの

きょうかいの中はきれいでしたよ。わたしは きょうかいの中はこんなにきれいとほりませんでした。まるで天国みたい

でした。おききしますが 天国でどんなきれいな？ 雨なんかふらないの？ あついのさむいの？ 春みたいにあつた

かいの？ いろんな人がいるの？ びょう気つてないの？ みんなげんきな？ おしえて

ください。となりのおじいちゃんげん気？ わたしは 天国かじごくかどっちに

いけるの？

わたしのいちばんすきなべんきょうは

しゅうきょうです。かみさまのことを

いっぱい いっぱいおしえて下さい。そ

して えいごもりかもおしえて下さい。

そして がしこくしてください。イエズ

スさまのように……。わたしは まいに

ちロザリオにいきます。そのことを

い

つもいっています。(聖母学院小1年)

天国

地球

えんじ

やすのひろあき (ノートルダム小3年)

ははのてかみいってとく

がな

R7あひでき

天国

地球

えんじ

やすのひろあき (ノートルダム小3年)

ははのてかみいってとく

がな

R7あひでき

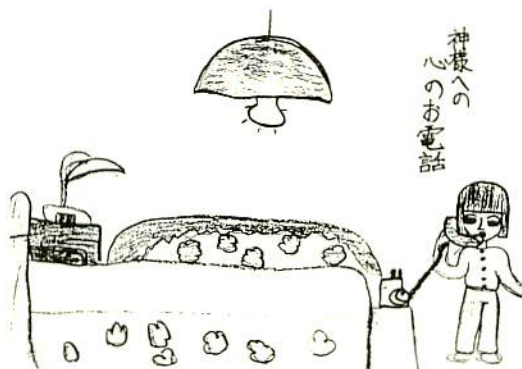
天国

地球

えんじ

やすのひろあき (ノートルダム小3年)

神さまへ
心のお電話



森藤英美 (ノートルダム小3年)

かみさまへのおねがい

高山正昭

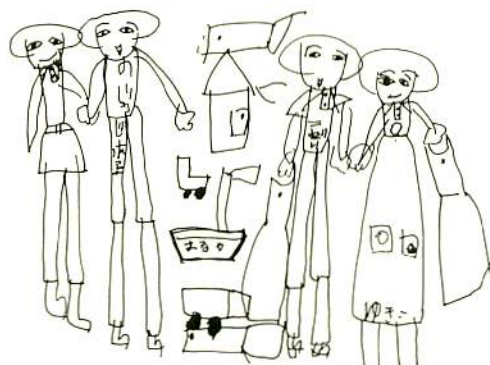
かみさま ぼくは かみさまがいるところ
に かならず帰るから わるいことは
しませんから 今までの わるいことは
ゆるして下さい。

神さまへ

(聖マリア養護学校二年)

かみさま、ぼくきょうにミサにいきました。
ぼくは、まよっています。なにかい
うと、ぶつだんがキリストのほうかど
ちらをしんじればいいのですか。もちろ
ん、ようほうしんじてもいいですが、

かみさま、おじいちゃん、ぶつだんの
ほうで、ぼくは、キリストさまのほうで
す。おかあさんが、こういってました。

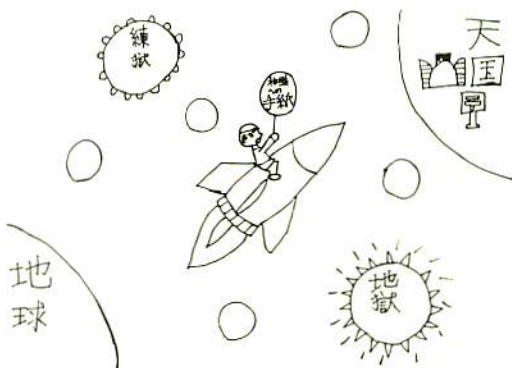


「かみさまとぶつだんをりようほうしん
じなさい」といっています。そうしまし
ようか。そのとおりにしましょうかど
うかがいましょうか。かみさま、てが
みが天国にいたらかんがえてください。
へんじがあつたらだれにもきこえない。
ぼくだけきこえる大きなこえで、ぼく
にはなしかけてください。かみさま、ぜ
ったいにぼくたちのおいりをきいて
ねがいごとをかなえてください。
かみさま、くもの糸というおはなしを
していますか。そのことは、ほんとう
にあつたおはなしですか。そのおはなし
がうそだったらそのおはなしによくにた
おはなしをおしえてください。かみさま
ちきゅうができたころのことをいっぱい
おしえてください。

(聖母学院小一年)

神さまへ

劉りお



神さま こんにちは 神さまのすばら
しいことを おもいながら 書いてます。
神さまは ふしぎな力を、おもちでい
らっしゃいます。でも、その力は、いい
ことにしか おつかいになりません。
わたしは かみさまのそこが、きにいつ
ています。そして、そこを、ほめていま
す。かみさまは、人に言われて、その力
を、だすのではなく、自分の、つかって
よいときにおつかいになられます。
かみさまにおねがいしたら、なんでも
かないます。わたしは、かんしゃしてい
ます。

(ノートルダム小三年)

※ 次号以後にも子どもの絵と作文を掲
載する予定です。

特集「神さまへのおねがい」 を出すにあたり

御存知の様に、今年は国際児童年に当
たります。それで、子供達が大人に対し
何を願っているのか聞いて見ようと云う
事になりましたが、もっと広く、神様に
お願いしたい事を聞く事によって、何か
もっと深い子供の願いを知りたいと思
いました。

中には少し意識しすぎて、優等生の
答えの様なものもあります。その中で子
供の生の心を伝えている様なものを、ま
ず選んで見る事にしました。父母と離れ
闘病生活をしなければならぬ子供にと
って、父母と共に生きる事がどれ程切実
な願いであるか、平和な幸せな家庭に生
きる子供達にとってそのありがたみは、
到底解らないでしょう。私はわるい事を
しました。ゆるしていたくけますか。は
い、心から。ごらん十字架上のイエズス
様を、神様はやさしい方なのです。

天国ってどんな所でしょう、教えて下
さい。私達はどうか答えてあげましょうか。
そこが本当に魅力ある所と分かるには、
どの様に云えば良いのでしょうか。それは
御両親で答えていきだきたいと思ひます。
そういった対話の中から、親と子の繋がり
が生まれて来るのです。子供達が今本
当に望んでいるもの、それはテレビとか
マンガではなく、親と子の親しい交わり
なのです。親と子供達に祝福を。

「京都教区のヴィジョンをつくってはいけませんか？」

さいきん、日本カトリック教会のヴィジョンをつくろう、と言う動きがある。先日その責任者のＳ師の話しをきき、いろいろ考えさせられた。昨年の秋に、東京の方で、ヴィジョンをつくる司祭研修会と言うのが持たれたらしい。その時宣教司牧センターが準備した「たたき台」は、日本各地から集って来た五十数人の司祭達との討議の末、どこかに姿を消してしまつたらしい。そのかわり、今度はそこに集つた司祭達の一人一人が、「新しいたたき台」をつくる使命を負わされたようだ。一つぶの種が地に落ちて死んで、そしていろんなかたちで、いろんなところで新しい芽をふき出そうとしていくと解釈したい。百倍の実を結ぶことを期待しつゝ。

まねかきが長くなつたが、現実には教会
と言う組織なり、共同体が、存在するの
であれば、やはりそこには、ヴィジョン、
指針、展望、ないしは共通の心と言つた
ものがあつた方がよいと思う。問題はこ
の方向性なり、心と言つたものが、どう
いうものであり、どのように出来上つて
くるのかと言うところにある。

これは、まず、数人の「知恵者」、数人の「偉い人」、数人の「聖人」達の仕業であつてはならない。そしてまた、キリストに倣つて行こうとしている人のものでなく、多様な動きを制限したりしてしまうものであつてはならない。かえつて、キリス

トを大事に思っているあらゆる人達、一人一人が、その苦しさ、問いかけ、希望そして愛の体験を持ちよつて、キリストの素晴らしさを、より豊かにして行くものであつてほしいと思う。イエズスは、世界に於ける神の「ヴィジョン」を人間に伝えられたのだけれど、そのやりかたに注目したい。彼は三十三年間、ただひたすらに、人々の間を走りまわり求めたき探し続けた。いろんなところで、いろんなふうに生きている人間を見ておられた。そこにあるいろんな現実には、時には喜ばれ、時には悲しまれ、時には驚かれ、又怒つておられた。と同時に、そこに働いている神の恵みをも見つけておられたに違いない。後日「公生活」の中の司祭達との討論、彼の語つたたとえ話し等は、三十年間の体験の産物だと思ふ。三、四十年間につちかわれたイエズスの目と耳と足と心は、一人を見過すことなくあらゆる人に注がれている御父の愛の広さと深さを十分に受けとめることに役立つた。神を人間を愛する父として伝えたのは、人々の間をかけめぐりながら彼の中に生れていた確信であつたのであらう。こうしてイエズスは神の世界に対する「ヴィジョン」をつくり出したのではないかと思う。

もし京都においても「ウイジョン」をつくるのであれば、そのやり方は、やはりイエズスのそれに似たものであってほしいと思う。単なる過去の教養や公文書のまとめたものよりも（もちろんこれらは大切な一つの資料ではあるけれど）神が共に働くこの現実の中で生きている人

聖母力タキス夕会二十五周年

人、二人一人がその体験を持ちよれる様なかたちであってほしいと思う。私達一人一人が、社会の中で、もっとよく見、もっとよくきき、もっとよく歩くなかで、神の計画を探しながら、それに合った「ヴィジョン」をつくり出したいものである。

越知健

越知健

ゲマインシャト(神言会)によって創立された聖母カテキスタ会会員は、先に感謝の祝典を名古屋で盛大に挙行。京都地区でも25周年記念行事として歌集「平和を祈ろう」の作詞、作曲者、末吉良次修道士(フランシスコ会)を迎えて神への感謝と賛美を捧げる。

日時 五月三日(木) 午後一時
場所 京都カトリック会館 6階

ヌヴェール会

ベルナデッタ帰天百周年を記念

ヌヴェール会では、ルルドでの聖母出現を受けた聖女ベルナデッタの掃天百周年をむかえて、全世界的に聖年としてこの一年間を過す。京都の修道院でも種々の催しを計画しているが、その皮切りとして次の様な記念ミサと講演が行われる予定で、多くの方々が参加されることを望んでいる。

日時 昭和54年4月22日①午後2時～4時
場所 聖母学院中・高等学校体育館
内容 感謝の祭儀 司教、司祭方による

共同司式ミサ

記念講演ベルナデッタとわたし
ち―ミルサン師（パリ―外国宣
宣教会司祭）

祝花、供花、式場装飾



JFTD加盟店

オリジナル フラワーデザイン

株式会社 桂花園

京都市西京区川島玉頸町 4 1

TEL (075)381-5389·391-0301

製菓材料・舶来食品
和洋酒・修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒

夕 丰 ノ

〒604 京都市中京区錦小路通烏丸東入
電話 (221) 0976—7



建築設計監理
一級建築士事務所
環境設計

〒601 京都市南区東九条下殿田町15
(市電九条車庫)

☎京都(075)671-6038

欽ちゃん(三七才)彼が身障者の働き
の場「あかつきの家」に来たのはボラン
ティアの紹介で他の障害者の働きぶり
を見るためでした。彼の両手はマヒ、両足
は何んとか歩けるでいどです。言語障害
で音声は言葉になりません。彼自身も家
族も働けるとは思っていません。そんな
欽ちゃんに「あかつきの家」は仕事を
みつけたのです。仲間たちが組立てたス
イッチの配線が正確に結線されているか
を検査する仕事です。その翌日から彼は
製品の「検査部長」に仲間から任命さ
れた。欽ちゃんの瞳は「百万ボルト」に
輝き不良品を正確に撲別した。彼が生れ
て初めて握った「労働の実り」は七千八
百円(二週間分)。その夜欽ちゃんのお母
さんから電話があった。

「愛の火」は

百万ボルト

「ほんとに、うちの子が働いたお金です
か? 同情でもらったお金でしょうネ」
「お母さん、少いけれど、欽ちゃんが本
当に働いたお金ですよ。」
「ほんとですか……ほんと……」
受話機のもうでお母さんの声は涙ぐん
でいた。

欽ちゃんが通勤する国鉄紀勢本線の機
関士は、欽ちゃんの乗降を確認しないと
列車を動かさない。駅長と欽ちゃんも仲
良しになりました。——と云うような出
来事を通して「愛の火は」燃えひろがる
のでしょうか。

神は「……この世の無力な者を選ばれま
した」(「一コリント」一章の二七節)

(カテキスタ川口)

小教区の頁

尾鷲教会



「尾鷲教会は小教区ですか?」二百キロ
メートルへだたった教区事務所からの電話
のお声です。カテキスタはとっさの返事
にとまどった。小教区についての公式の
定義を知らないし、考えてみるきっかけ
もなかったからである。そんな時、尾鷲
教会を教区時報に「小教区の頁」に書けと
のご指示があり、なんだかキテレツな思
いがしたのですが、これは、聖霊が尾鷲
の私達に「主のみ名によって、田中司教
様のもとに、京都教区の皆様と心をひと
つにする兄弟姉妹である」ことをより確
かに教えて下さるために準備して下さい
たこと、そのために「小教区の頁」を用い
て下さるのでしょうか——と云うわけで教
区時報の編集長である聖霊と、編集の役
務に働くスタッフの方々に感謝しながら
尾鷲教会の「自己紹介」を記します。

十 十 十

尾鷲教会の宣教活動の歴史を横線グラ
フで現すと、宣教者の熱心さとご苦労に
かわらず、その線は急な角度で上下す
る。土地の人は云う、「尾鷲人は熱しやす
くさめやすい」と。そして明るくて親切

です。

「カトリック教会尾鷲布教所、本格的に
布教活動に入る」昭和三十三年八月二十
日付新聞報道の出しです。同年十二月
十日の新聞に「おごそかに献堂式、古屋
司教臨席」と。その時の参会者八十人と
報道されている。

「遠い国から、しかも敵対した私達の
国へ恩恵を越えて来られた宣教者(メリ
ノール宣教会)の愛とぎせいの働きの尊
さ」を賞賛した古屋司教様の挨拶。祝賀
パーティーの「尾鷲の魚すし」が美味だっ
たことは今も
記憶に残る。



それから今
日までの二十
三年間、布教
の時間の流れ
の早さに驚き
ます。初代主
任司教キーシ
マン神父、繼いでエグルスト神父から、
ピンスコ神父へと受継いで十六年間、そ
の後、司教不在のため主日のみ伊勢と松
阪から交互に出向して、祭儀が行われる
と云う空白の時間が約一年間、そして昭
和49年メリノール宣教会のひとつの試
みとして一人の伝道師が派遣され「みこ
とばの祭儀」を行う「聖体奉仕者」とし
て定住し今日に到る。現担当司教は松阪
教会主任司教マキロップ神父です。小教
区の定義についてはそのうち司教様が教
えて下さるでしょう

キリストのみ名によって「祈り」聖書に

啓示された救いの歴史とみことばを「学
び」それを「行なう」ことによって神の
国とその義を求めて集った「共同体」が
教区の最南端紀州尾鷲市に実在していま
す。この小さな羊の群を神様が、この異
教の地で、どのように訓練され、どのよ
うに用いられるのでしょうか。

私達は四旬節の司教様からのメッセー
ジを使徒パウロがコリント人へ送った手
紙のように読み、そのメッセージから学
ぶために特別の時間をもちました。毎月
一回主が遣わしてくださる司教ロバート
スザン神父)を迎えて「ミサ」にあずか
り、聖書と司教を通して教えられる「み
ことば」を聴き、毎主日に聖体奉仕者と
共に「聖なるパン」をいただき、互に兄弟
であることを確認し、共に賛美の歌をう
たっています。

尾鷲教会の洗礼台帳の受洗者ナンバ
ーは八十八番、この立派に製本された台帳
にはまだ空欄ナンバーが一千人分準備さ
れています。「神に義とせられて」この空
欄の頁に記入される者が市民や村人の中
に多勢いることを信じています。

その「時が満ちる」日のために「世の
光」小さな「パン種」としてこの地に生
きつづけるでしょう。そしてキリストの
光が世を照らすことを祈りながら、ボラ
ンティア活動「あかつきの家」を設け、
「小さな兄弟に仕える」ことを具体的に
実行しています。

教区の皆様、この光がより強く、より
大きくなるように、祈って下さい。

芽生え (十二)

—京都教区五十年をふり返って

古屋義之

誰も知らない私だけの苦労話も沢山あります。教区長として、思いがけない問題に巻き込まれたりもしました。そんな中からいくつか紹介しましょう。

お金のことで、ずいぶん呑気な想い出話が残っています。前にも話しましたが、戦争中、メリノール会の司祭で京都に留まったのは、パーン師だけでした。邦人司祭も、私が孤軍奮闘していたときです。私もパーン師もお金がなく、困りはてました。毎年いくらかの補助がバチカンからでていましたが、私はその会計をブラザーに任せ、無一文という状態です。

それで私は、大阪のカスタニエ司教様のところへ、お金を借りに行くことにしました。私は子どもの頃から司教様に可愛がっていただき、また司教様に叙階していただいたので、親子のようなものでした。そんな関係から、司教様も心安く今の金額にして何百万円かを貸して下さいました。そのとき私は、司教様は太っ腹のことでもあるし、このお金はいただけるのではないかと考えていたのです。でも、司教様は個人的な貸借ではなく、教区に貸すのだからと証文を書かれました。それでも私は、これは形だけのことで、もらったものと安心(?)していました。

そして、戦争が終る前にカスタニエ司教様はお亡くなりになり、これで私に借金請求に来る人はなくなつたと思つて、神に感謝!?を唱えました。

ところが、終戦後、神戸からフランス人の神父が来られたのです。私はてっきり京都見物であらうと思つていました。それで、お茶などを出して接待していると、その神父は一枚の書類を見せ、カスタニエ司教様の書類を整理していたらこ



れが出てきたと言うのです。それは、まぎれもなくあのときの証文で、私はそんなことなどすっかり忘れていたのでびっくりしました。でも、お金を返すにもどこにもなく、バチカンからの補助が来

るまで待つてもらうことにしました。結局何分の一かを返しただけで負けてもらいました。今から思うと、呑気な話です。

次の話は、私が今までに一度だけ裁判の被告になつたときの話です。ある教会の幼稚園で事故があり、賠償問題で裁判となつたわけです。それで、ある日私宛てに裁判所から通知が来て、「被告古屋義之、○月○日に出席せよ」と書いてあるではありませんか。実はそのときまで、そんな事故があつたことも知らなかつたので、驚いたなどといったものではありません。さつそく教会に問い合わせて事情を聞き、裁判もそれほどめめることなく解決しました。それにしても被告何々と活字になつたものをもらうのは、気持ちの悪いものです。

この話もとんだ濡衣だつたのですが、河原町教会の伝道館をバレー教室に貸したときのことです。子どもの健康にも良いからと頼まれ、平日だけ貸すことにしました。ところが、ある人がこのことを東京の教皇使節のところへ手紙で陳情したので。その内容というのが、こともあろうに教会で女の子たちが裸で踊っている。そして、それが外からまる見えである、というのです。その内に、私の手許にその手紙が回つてきて、書いた人いろいろな正すと、その人はバレーの練習を見たこともなく、他の人から言われてその手紙を書いたとのこと、事情がわかるとえらく謝っていました。

つづく

(題字も古屋司教)



時報が対話
の手段なら
ば「互い」に
心を開けあ
も編集者も
おう」書く
者も読む者
も、投稿者

- ◆大きなランドセルをカタカタいわせて走つていく小学一年生。真新しい背広がちょつとびり恥し気な新入社員……。過ぎ去つた日々の思い出をたずさえて新しい日をむかえる四月。(〇)
- ◆編集会議を終えた頃に東山の満月あり。満月はあくる朝、欠けたまゝ、沈んでしまつた。まんまるのお月様をもう一度返してほしい。(き)
- ◆沈丁花のかおりが春を運んでくれました。髪を短く切りましようか。(一)
- 心のおしゃれをしましようか。(一)
- ◆時報復刊以来編集部を育て、下さつたSrOに多謝。今後とも声援、助言を仙台のニュースに添えて送つて下さい。(Y)
- ◆春を追つかけるようにして桜前線も北上します。弁当を持って出かけますか。(亜)
- ◆神の国は大人が幼児になる事でなく、幼児の様になる事による。児童年。彼等に何かをしてあげるのではなく、教えていただく事もなければ、良き師幼児よ。(M)

(編集部から)

復刊以来のスタッフであつたSr小川が修道会との都合で仙台に移られます。長い間ありがとうございます。また、新しく「I」こと飯尾悦子さん(大津教会)が、スタッフとし活躍していただくことになりました。どうぞよろしく。